

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014 - 1 - 561
研究課題名 過敏性腸症候群のストレス応答を規定する神経内分泌機能
研究期間 西暦 2011年 8月（倫理委員会承認後）～2016年 7月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
上記材料の採取期間 西暦 2011年 10月～2014年 6月
意義、目的 過敏性腸症候群のストレス応答に血中の代謝物が関連する可能性が最近報告されている。本研究では、（1）過敏性腸症候群における腸管刺激（生理的ストレス）に対するストレス反応ホルモンの反応性、および腸管運動の反応性（2）（1）におけるストレスホルモン反応性、および腸管運動反応性と脳活動との関係（3）生育歴、自己効力感、社会的支援の程度に関連して、ストレス反応性、脳内神経機構の構造変化、機能変化がみられることを検討したが、今回これに加えて血中代謝物がストレス反応性、および脳活動と関係するかを検討する。
方法 2011年10月～2014年6月までの間に課題名「過敏性腸症候群のストレス応答を規定する神経内分泌機能」の研究に参加いただいた方の血液検体を凍結保存しているものから、メタボローム解析を用いて血中代謝物を網羅的に解析し、過敏性腸症候群、および対照群で検討し、その違いを明らかにする。また血中代謝物とこれまでの検討より得られたストレス反応性、腸管運動反応、および心理背景、脳活動との関連を検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口 鹿野理子 東北大学大学院医学系研究科行動医学分野 郵便番号 980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 Tel: 022-717-8218 Fax: 022-717-8161 Email: kano-m@med.tohoku.ac.jp